



P06に登場!

〈特集〉

赤い羽根共同募金
じぶんの町を良くするしくみ。
～若者の参画と、大雨災害への対応～

県立駿河総合高等学校
総合学科ビジュアルデザイン選択のみなさん
「絵を描くことが好き」、「将来デザインの仕事がしたい」といった動機から授業を選択。主にイラストレーターを使って、ポスターやチラシなどのデザイン制作を学ぶ。昨年、赤い羽根共同募金運動を周知するための「赤い羽根、若者向けプロジェクト」に取り組んだ。





赤い羽根共同募金

しづんの町を良くするしくみ。

～若者の参画と、大雨災害への対応～

今年も「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

赤い羽根共同募金は、生活困窮や孤立、孤独など身近な福祉課題はもちろんのこと、地域の未来を担う若者への福祉教育や、相次ぐ災害に対する災害ボランティアセンターの運営支援など多岐にわたる福祉活動に活かされています。赤い羽根共同募金の助成事業について取材しました。

若者のいろいろな意見が手書きの文字で載っています。そこが読者に伝わりやすいですね。



校長
小林浩之先生

イラストに親近感！手に取りたくなる第一印象だと思いました。

土屋優生さん



興味が持てる言葉があって、ちょっと考えるきっかけになりました。

遠藤羽菜さん



アンケートがこういう形で活用されて嬉しいし、他の人の意見も気になるな。

日吉優月さん



今、反抗期や思春期の人もいると思うけどいろんなことを見つめ直せるはず。

池谷挑夢さん



自分の意見が載ってる！完成した本を見てすごい感動がありました。

大川眞さん



絵がきれいなので学校で配られたら思わず手に取っちゃいます！

山下智子さん

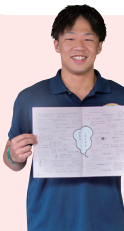


副読本は福祉の「種まき」。自分たちが、住みやすい地域づくりの一員だと気づききっかけになってほしいな。



西伊豆町市社協
荻田栄和さん

地域福祉教育とか難しい言葉ではなく、中学生の心のよりどころになるような本になるといいなと思っています。



島田市社協
鈴木莉玖さん

こんな思いで作りました！！



伝えたいことを形にする段取りと整理が私の役割。副読本が完成した今、次の課題に取り掛かっています。



アソカワシズルずおか
プログラムディレクター
鈴木一郎太さん

副読本が無数の可能性を秘めた、学びの原動力(契機)になればと願っています。



静岡福祉大学学長
増田樹郎先生

福祉教育の担当ではない私が作業部会に加わり、伝えたい想いをたっぷり詰め込みました。



富士市社協
加藤慎也さん

この本が、中学生の考えるきっかけ、あるいは考えないきっかけになってくれればいいと思っています。



グラフィックデザイナー
二宮奈緒子さん

福祉に関心があってもなくても、ふと手に取ってみたいくなる副読本になりました。



浜松市社協
永井紀子さん



制作に協力した長泉町立北中学校の皆さん。完成した副読本を見て歓声が上がります。



その1
福祉教育

県内中学2年生を対象とした地域福祉教育副読本「ちいきふくしの練習帖 ふむふむ程度。」が完成！

多くの人がさまざまに関わり方をした2年越しの開発

新たな地域福祉教育副読本「ちいきふくしの練習帖 ふむふむ程度。」が2023年3月、完成。この副読本は、赤い羽根共同募金の助成金を活用して作られました。静岡福祉大学の増田樹郎(たつろう)学長をはじめとする委員が協議を重ね、2年かけて制作し、県内の中学2年生を対象に配布します。答えや解説を分かりやすく書くのではなく、中学生が主体的に考えるための「きっかけ」や「問いかけ」がどのページにも顔をのぞかせています。

副読本に期待する効果

副読本を活用した福祉教育学習を通じて、①違いを認め合うこと(相手の立場になって考える心) ②人間の尊厳(いのち)の大切さ ③他者との関わり方(人は、いろいろな人との関わりの中で生き、生活しており、決して一人ではない)を学ぶことで、身近な仲間や家族が困っていることに敏感に気づき、積極的な声掛けなどができる力を身に付ける。また、自分たちの住んでいる地域では、どんなことが起きているのかを想像し、地域のために自分ができることを考え、地域活動へ積極的に参加(行動)する力を高めること。

※新たな地域福祉教育副読本は、静岡県社協ホームページ内にPDF版を掲載しています。 ホームページ→



最初は、表紙とタイトルに興味を惹かれたようです。さて、どんな感想が寄せられるのでしょうか？答えは次ページに！



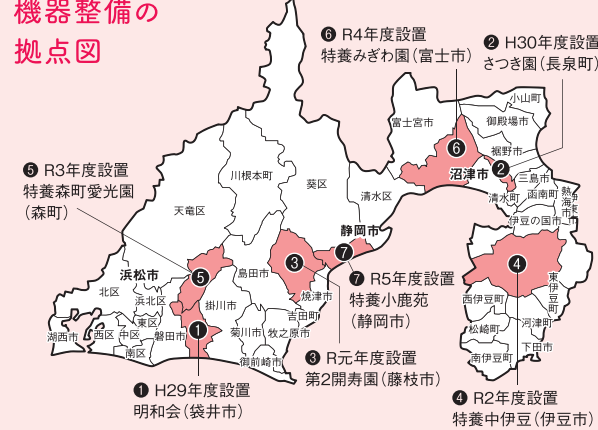
令和5年度第3回市町災害ボランティア本部（センター）
担当者人材育成研修の様子。

災害に備え 人材育成のための研修を
赤い羽根助成事業の一つに、静岡県社協が主催する「静岡県下災害ボランティア本部（センター）運営力向上事業」があり、市町社協の災害ボランティア担当者を対象とした研修を実施しています。

「働」が求められています。本研修を通じて、社協が災害ボランティアセンターを担う意義を学び、平時から地域住民や行政、外部支援団体と顔の見える関係性を構築することで、様々な被災者ニーズに対応ができる協働型の災害ボランティアセンター運営を目指します。

令和5年度も市町社協のこれまでの経験を生かしながら研修を3回行います。令和5年6月28日、特別養護老人ホーム小鹿苑（済生会）にて、赤い羽根「災害ボランティア活動用機器に関する覚書締結式」が行われました。県市町社協は、大規模災害時に備えて地域の民生委員児童委員協議会や自治会等と協力し、災害ボランティア活動用機器の整備を進めており、そのうち静岡県社協では、7番目となるス

機器整備の拠点図



1.赤い羽根のシールが付いたものはすべて共同募金の助成による道具類です。2.締結式に参加したみなさんでストックヤードの確認を行いました。

その3 人材育成研修

令和5年度の活動は「災害福祉支援活動の強化」

その4 機器の整備

静岡市の小鹿苑（済生会）に県内7ヶ所目のストックヤード設置



1.床下の泥については支援団体の指導の下、畳や床板を剥がし、床下に潜り込んでの泥かき作業に。2.本部とサテライトを設置。現場と本部が連携して支援した。3.役立ったのは荷台に直接泥を載せて運べる軽ダンプ。4.住宅や敷地内に集積した泥を取り除く作業。重機が入れない場所はボランティアが人力でかき出しを実行。5.赤い羽根共同募金の助成金で購入した道具類。6.事務機器も助成によるもの。



左から、小栗伸介さん、打桐清乃さん、大杉昌弘さん、寺田敏雄さん

その2 災害福祉支援

台風の被害における磐田市社協の取り組み

昨年の台風15号、6月の台風2号に
対し総力をあげて
立ち向かった磐田市
令和5年6月の台風2号災害により、災害ボランティアセンター（以下ボラセン）を立ち上げた磐田市社協。「昨年の台風15号を経験し、住民にもボラセンや社協の名をすぐ分かっていただけた」と寺田敏雄さん。「迅速にボラセンを立ち上げられたのは前回の台風15号を経験し、とにかく初動が大事だと痛感したからだと話す打桐清乃さん。

小栗伸介さんも「行政との関係が深まり、最初からペアになって行動しました」と話します。一方、ボラセンを閉じた後も「生活の復旧、暮らしの復旧までがゴール」と、大杉昌弘さん。台風15号後の動きを詳細にまとめた資料から、多くの学びがありました。復旧に役立った工具や道具の多くは、赤い羽根共同募金の助成によるもの。県民の皆様からの赤い羽根共同募金の助成に感謝を述べつつ、今後起こりうる大規模災害に対し、磐田市としてどのように対応できるのかを協議しています。

じぶんの町を良くする取り組み

**お店とのコラボ
「寄付つき商品」**

お店や会社とコラボした「寄付つき商品」は社会貢献が広がる企画です。期間を限定したり、商店街でイベント企画したり。



募金箱を見かけたら
街角や、お店に置かれていたら、優しい気持ちをお願いします。

思いを「ポチっと」
ネットショッピングのように、あなたの思いやりを「ポチッ」とネット寄付できます。（右QRコード）

寄付につながる「自動販売機」
売り上げの一部が寄付される自動販売機の設置協力は県内の福祉施設やホームセンターなど約500カ所あります。



設置先
グレースカールン
(浜松市北区)



ホームページ ネット寄付

**社会福祉法人
静岡県共同募金会**
静岡市葵区駿府町1-70
県社会福祉会館内 TEL:054-254-5212

熱海市伊豆山地区復興コミュニティ支援

熱海市社協では赤い羽根助成金を活用して、令和3年の土石流による被災者が離れた場所に暮らしていても、いつでも伊豆山地区の住民とつながり集まれる拠点となる「サロン」を運営しています。町内会・民生委員の協力のもと、体調管理や相談など困りごとを解決する手助けを行い、被災者同士のつながりを支えています。

・サロン運営：月2～3回の開催
・赤い羽根助成金の使いみち：民間施設借上費、事業周知連絡費、印刷費、損害保険料、光熱水費



**災害に関する静岡県社協が取り組む
赤い羽根助成事業**

①被災者支援

災害ボランティアセンターを設置運営し、被災者のニーズとボランティアをつなぐ。

②運営力支援

平時において災害ボランティアセンター運営力向上研修を実施。

③活動機器整備

発災後直ちに被災地でボランティア活動に着手できるように県市町社協が福祉施設に活動用機器を整備。（県下89箇所）



Information

福祉にまつわる様々なお知らせや取り組みをご紹介します。あなたの暮らしに役立つことがあるかもしれません。

賛助会員募集のお知らせ

静岡県社会福祉協議会は、公私の社会福祉関係者と協力しながら、地域福祉の推進を図る民間の組織です。

会費 個人 1口 2,000円
団体 1口 10,000円

特典 ①機関紙「むすぶつなぐ(社会福祉しずおか)」を年8回、「メールマガジン」を月2回お届けします。②県内の社会福祉施設・団体一覧を閲覧できます。③所得税、個人住民税、法人税の優遇措置を受けられます。

申込方法 本会HPから申込用紙をダウンロードして下記まで郵送してください。

申込・問合せ 静岡県社会福祉協議会 総務部総務課
〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 TEL.054-254-5248
http://www.shizuoka-wel.jp/club_member/

イベントの事ならなんでもおまかせ!

(株)アイ

運動会 お祭り 各種レンタル

- 会場設営・舞台・テント ●照明・音響
- エアースターチ・ゲート ●名入風船
- フアア動物製作販売リース
- 各種文字カット ●アドバルーン各種

本社 / 焼津市大住402番地
☎054 (639) 6664



施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペットタイル出張丸洗い



ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナツ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1 フリーダイヤル-ミナワにハロー
☎0120-370286 fax054-295-9003

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

ケガの補償	プラン		
	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
死亡保険金	1,040万円		
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
入院保険金日額	6,500円		
手術 入院中の手術	65,000円		
保険金 外来の手術	32,500円		
通院保険金日額	4,000円		
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料	350円	500円	550円

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12223より抜粋して作成)

Special Interview

福祉の“中の人”

様々な福祉の活動について、具体的な内容や魅力を、実際に活動している人に直撃!リアルな声をお届けします。

case.29
総合学科
ビジュアルデザイン選択
県立駿河総合
高等学校



左上から時計まわりに高尾涼花(すずか)さん
石原百梨(ももか)さん、松井友花(ゆうか)さん
吉村柚香(ゆずか)さん、落合志耶果(しやか)さん

「赤い羽根共同募金のことを知るきっかけを、デザインの力で」

県立駿河総合高校の選択授業でビジュアルデザインを学んでいるみなさん。赤い羽根、若者プロジェクトでは、学んだスキルを活かして赤い羽根共同募金運動に参画。5名の作品が壁新聞やチラシなどに採用されました。

Q どんなことを意識して制作しましたか?
松井 若者に赤い羽根共同募金のことを知ってもらおうという目的だったので、文字は極力少なく、イラストで募金の使いみちがパッとわかるようにしました。すやすや眠っている赤ちゃんのイラストが特に気に入っています。

石原 キャッチフレーズを、呼び掛けで終わらせることで興味を惹くようにしました。いろいろな人が見てわかりやすいようにピクトグラムを使用し、募金する手だけ写真にして、インパクトを出しました。吉村 募金の使いみちを知ってもらうために、まずは、もらった資料

だけでなくHPも調べました。若者の周りに店や建物を配置し、若者が暮らしている街をイメージさせるようにしました。

高尾 「輪」をテーマに、1回の募金からいろいろな助けにつながることを表現しました。若者向けということ意識したのは、可愛いイラストです。羽根の赤い色をグラデーションにして広がりを感じさせるようにもしました。

落合 壁新聞なので、情報を多く入れることを意識しつつ、文字ばかりだと見づらいのでグラフィックを取り入れました。「赤い羽根共同募金」のロゴを大きくしたこともこだわりです。

Q 取り組みで、どんなことを感じましたか?
松井 どうやって自分以外の人に伝わるか、文章や絵にどう落とし込むか考える工程は大変だけど楽しかった。

石原 作品を作る上で、赤い羽根共同募金についていろいろ調べたので、自分にとっても知らなかったことを知る機会になって良かったです。

高尾 募金の存在自体は知っていたし募金をしたこともあったけれど、どんな風に使われているのかは知らなかった。同時に、いろいろな人に知ってもらうきっかけを作れて嬉しいです。

Q 壁新聞やチラシを見る人に向けてメッセージを。
吉村 若者向けというテーマで制作したけれど、掲示されたら子どもからお年寄りまで幅広く、世代を超えて見てもらいたいです。

落合 ロゴを大きく目立つようにしたので、まずここで「ん?」と興味を持ってもらい、QRコードからHPなどへアクセスしてほしいです。

福産品を探して

静岡県では障害福祉施設で働く人によって作られたものを「ふじのくに福産品」と名付けています。地域の特性を活かしたり趣向を凝らしたり、作る人も買う人もハッピーになる品々を紹介します!



1.ボリュームたっぷりの野菜カレー。2.昔ながらの型で手焼きしているカステラせんべい。3.厨房の作業は真剣かつ、楽しい仕事。4.一番人気はチャイのジェラート。5.ウッディで豊富なグリーンに癒やされる店内。

グレースガーデン

グレースガーデンは、素材と味にこだわったカレーがメインのカフェ&レストラン。炊飯から煮込みまで、細かな気泡が料理を味わい深くするといわれているナノバブル水を使用し、自然素材を活かした身体にやさしい食作りを目指しています。中でも人気は天然スパイスと、時にはグレースファームで収穫した野菜も登場する野菜カレー。季節によって内容は変わりますが、たっぷりの野菜が彩りよく盛られ、食欲をそそります。ランチタイム以降はカフェの利用も大歓迎。種類豊富なジェラートもおすすめです。一般就労や雇用契約が難しい方の就労を支援するB型事業所と

しての運営のため、スタッフ(職員)の体制によって急に営業日や時間の変更となる場合があります。年末年始や臨時休業のお知らせはブログをチェックしてみてください。ガーデンにいなような店内は癒やしの空間です。(駐車場には、赤い羽根の社会貢献型自動販売機が設置されています)

浜松市北区三方原町2157-2 TEL.053-525-8730(レストラン)
 営.11:00~20:00
 (仕込みで15:00~17:00をcloseする場合あり)
 休.火曜日(月に数回連休あり) 駐.有



10月は里親月間です。

厚生労働省では、毎年10月を『里親月間』として、里親制度やファミリーホームを推進するための集中的な広報啓発を実施しています。里親制度等の家庭的な養護が子どもの最善の利益にかなう有意義な制度であることを広く県民・市民に啓発することで、社会的養護についての理解を深めるとともに、地域全体で子どもを支える地域社会の構築を目的としています。各都道府県では、この時期、様々な関連イベントが開催されます。静岡県でも、毎年「里親月間記念講演会」を開催しています。

令和5年度 里親月間記念講演会

- 日時** 令和5年10月21日(土) 13:30~15:00
- 会場** アイセル21(静岡市女性会館) 1階ホール
静岡市葵区東草深町3番18号
- 参加費** 無料
- 演題** 『はじめまして、私たち里親家族です。』
- 出演者** 眞保和彦氏(全国里親会副会長)・眞保葉子氏(里親相談員)ご家族



問合せ先

静岡市里親家庭支援センター …… TEL 054-275-2252
 静岡県里親連合会事務局 …… TEL 054-254-5231
 浜松市里親会事務局 …… TEL 053-457-2703